

## 2024年度第2回地域医療支援委員会 議事録

【日 時】令和6年10月9日（火）18:30～19:40

【場 所】四日市羽津医療センター4F多目的ホール

【出席者】鳥井孝宏（当会委員長、四日市医師会常任理事）柴田英治（当会副委員長、四日市看護医療大学学長）、高司智史（四日市市保健所所長）、伊藤誠也（四日市市北消防署署長）、山路和良（四日市市自治会連合会会長）、内田寛（羽津地区連合自治会会長）、徳山直子（三重県乳腺患者友の会『すずらんの会』代表）

以下 当院職員

長谷川浩司（副院長）、岩永孝雄（副院長）、石井雅昭（附属介護老人保健施設長代理）、後藤信二（事務部長）、牧野真美（看護部長）、伊東亜矢子（附属訪問看護ステーション看護師長）、中島佐知子（地域連携室看護師長）、位田弥生（総務企画課長）、森田幹治（健康管理センター管理課長）、中川佳代（附属介護老人保健施設管理係長）、荒川真行（当会事務局、総務企画課課長補佐）

### ○開会挨拶<長谷川副院長>

本日は、大変お忙しいところご参集頂きありがとうございます。新型コロナウイルス感染症は減少傾向にはありますが、収束はなかなか難しく、患者数はコロナ前の状態に戻らず、特に今年は診療報酬改定で非常に厳しい病院運営を行っているところです。4月に管理者が代わり新体制となり、職員一丸となって救急搬送の受け入れ強化に努め、患者数は増加傾向にありますが、本部からの新病院の建設の許可には更なる病床稼働率の上昇が急務となっています。このような状況下のなか、皆様方との地域医療の在り方について話し合い、考え、ご意見をご頂戴いただき、改善を図り、益々励みたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 1. 四日市羽津医療センターからの報告事項

・病院の現況報告について

<岩永副院長>

【資料参照】

令和6年4月～8月病院現況報告。

外来状況、1日外来患者数449人。前年度比1日あたり11人減少。救急車搬送件数は736件。前年度比1か月あたり22件増加。紹介患者数は2,712人。前年度比1ヶ月あたり23人減少。初診患者数は3,824人で前年度比1日あたり1人減少。

1日入院数は前年度比17人増加、新入院患者数は前年度比251人の増加。1日平均入院患者数の月ごとの推移では、7月は1日入院数が163人と160人を超えました。

1日平均入院患者数の診療科別では、入院数増加に伴い、概ね全ての診療科にて増加。

紹介率は、令和6年度4月～8月の5か月平均で98.5%、逆紹介率については135.5%と地域支援病院としての基準値（紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上）を大きく上回っています。今年度は初診患者数が昨年度より減少しましたが救急車初診患者数が増加したため、紹介率、逆紹介率が大きくなりました。

病診検査数は、今年度4月～8月までの月平均は183件。昨年度より月平均9件増加。

病診検査数割合は、腹部エコーや循環器系の検査心エコー、ホルター心電図の検査依頼が増加。地域医療連携室は、社会福祉士の資格を取得した相談員が3名在籍。患者さんや患者さんのご家族のご相談に対応し、最も多い相談は在宅サービスで訪問診療や訪問看護等の相談でした。相談内容はさまざまですが、柔軟に対応させていただいております。

・健康管理センターの現況報告について

＜森田管理課長＞

【資料参照】

施設健診 月別件数推移、9月のまでの累計は前年度比▲554件。

前年度まではコロナの検査があり、その件数を除くと概ね前年度並み  
月別件数生活習慣病予防・人間ドック 9月までの累計は前年度並み  
月別件数、法定健診 9月までの累計は前年度比▲250件

住民健診 概ね前年度並み

巡回健診 9月までの累計は前年度比▲865件。8月後半に台風の影響があった。

生活習慣病予防・人間ドック 9月までの累計は前年度比▲660件。

法定健診 9月までの累計は前年度比▲150件。

特定保健指導 実施件数、前年度比減。

胃カメラ 検査枠 令和6年6月より、1日あたり7件検査枠増、

実施件数 前年度比増、年間3,000件以上実施できるようになった。

膵がん健診 前年度比増

令和6年度取り組み

- ・施設健診 胃カメラ枠増、腹部エコー枠増、新規オプション検査 脳ドック「AI健康検査」の導入
- ・巡回健診 新規事業所の獲得、ドック車の活用（腹部エコー、眼底検査など）
- ・特定保健指導 前年比+200件、健診当日の受診勧奨・指導勧奨、ICT化

(行政)

「AI健康検査」にて、海馬が委縮している等の問題があった場合は如何か。

(回答)

脳ドック受診者には説明会があり、その説明会に参加いただく。

(学識経験者)

特定保健指導で、施設内型、出張型、WEB型と3種類あるが割合は如何か。

(回答)

施設内の割合が多いが、次回に提示します。

(医師会)

健康診断で異常があった場合、どのくらいの割合の方が病院に受診されますか、また、ICT化はどう対応されていきますか。

(回答)

二次検診の割合となるが、受診をされたかの案内はしており、当院へ受診されるのは200件程度となっている。ICT化は次の健診システム更新の際に準備している。大きくは、

問診票と結果のデジタル化であるが、予約についても検討している。

・介護老人保健施設の現況報告について

<石井施設長代理>

【資料参照】

入所者平均前年度比 目標 90%。

入所前所在 昨年度比較で、自宅から入所が増加。

年度別再入所・再利用者割合 再利用者の割合が多い。

在宅復帰率 令和6年も安定した高い率を保っている。

退所先別 令和6年度自宅が50%で一番多い。

通所者平均前年度比 令和6年度 平均 12.6人

年度別老健退所後と新規通所利用開始割合 令和6年度 15%が老健退所後通所利用。

通所中止理由 令和6年度

通所理由開始終了グラフ 前年比減少している。通所が減少しており、デイケアのお試し体験を実施。

居宅介護支援事業所受持件数 前年度比で増加している。

訪問給食件数 前年度比減少、配食数も減少。

羽津山町のあんどん祭りへ参加、羽津山育成部ならびに自治会の皆様ありがとうございました。

(自治会)

訪問給食は減少傾向だが、如何か。

(回答)

訪問給食は、同じ様な内容の食事では継続して利用するのは厳しい、美味しくない等の意見があり、件数が減ってきている。

(行政)

食事は重要です。何か改善が必要と思います。

・訪問看護ステーションの現況報告について

<伊東看護師長>

【資料参照】

訪問看護ステーション運営状況

月別利用者数 目標値 85人 令和6年度は少ない状況。

利用者の医療保険・介護保険の割合 概ね半分

月別のべ訪問件数 目標 550件であるが、達していない。

地域別の利用者一覧 四日市市、北地域の羽津地区が多い。

利用者の年齢別分布 80～89歳の割合が多い。

介護保険利用者の介護区分とサービス内容 利用者 47名

2. その他

(行政)

次回開催が12月18日13時との事だが参加が厳しい。WEBでの参加はできないでしょうか。

(回答)

調整します。

### 3. 意見交換

(行政)

医師の働き方改革は如何でしょうか。

(回答)

昨年と比較し時間外勤務は減っており、年休取得も出来ている。自己研鑽の内容までは検証できていないが、現状では良い状態と考えている。但し、時間外が多い医師が少数いるため、タスクシフト等を検討している。

(患者代表)

9月に90才の母親が亡くなりましたが、この様な会へ参加させていただけていることもあり、落ち着いて対応することができました。ありがとうございました。なお、この後に市役所との会議がありますので中座させていただきます。失礼いたします。

(学識経験者)

病院の建替えの事で、障害となっているのは病床稼働率なのでしょうか。

(回答)

建替えは本部からの承認が得られないと進められないが、建替えた後の償還計画が重要になり、経営基盤の強化、診療部門の改善が求められている。その為、収益に影響する病床稼働率が一つの目安となっている。

(北消防署)

救急車の受入れ増加ありがとうございます。今後も引き続きよろしくお願いいたします。

(回答)

当院も救急搬送受入れに力を入れている。救急搬送の受け入れは、病床稼働率にも影響するので重要と考えている。

### 4. 閉会挨拶<長谷川副院長>

本日は長時間にわたりまして、貴重なご意見、ご助言をいただきまして、ありがとうございます。これからも地域の健康増進ならびに安心安全な医療の提供をしていきますので、ご指導をご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

次回開催 12/18 (水) 13:00～(1時間程度)

※参加形態(対面とWEBのハイブリッド方式等)は検討中です。